

## 2022年少林寺拳法全国大会inOSAKA〔論文の部〕 最優秀賞

### 「平和のために私が出来る事」

関東実業団少林寺拳法連盟

東京都 米蔵支部

初段 シュエイ タン

先ず簡単に自己紹介をします。私はシュエイ、タンです。ミャンマーのバンマウ町出身です。町の主な産業は農業と金の採掘です。日本在住の夫と一緒に暮らしたいと考え、日本にきました。ミャンマーでは五年間銀行に勤めていました。私が少林寺拳法をはじめたきっかけは、拳士である夫の修練を見学し、興味を持ったからです。その際、先生から少林寺拳法の説明をして頂きました。その中で「自分が強くならなければ相手も助けることが出来ない」という少林寺拳法の教えが私の心を動かし、入門にいたりしました。入門後、米蔵支部で仲間と修練に励み、少林寺拳法をととても好きになりました。相手の事を考える修練は楽しく、人間関係が広がりました。修練を通じて相手を思いやる心が育まれることが素晴らしいと感じました。他にも合宿や大会等の素晴らしい体験、発見がありました。仲間たちとの合宿はとても楽しい思い出になりました。関東実業団連盟の沢山の先生方に技を教えて頂、他支部の方々と親交を深めることが出来ました。また、大会には二回出場しました。同志的連帯感や自分が変われることを実感出来た、素晴らしい体験となりました。今後も修練に励み、大会に出場したいと思っています。

ここで、平和についての考えを述べます。平和は自分勝手な行動をする人間の中では実現しません。人をいじめたりすることがない皆が仲良く出来ることが平和だと思います。以前は戦争がなければ平和だと考えていましたが、母国の政変を経た現在、国の中でたすけ合う事が出来なければ平和ではないと思っています。ミャンマーの新型コロナウイルス対策は、新政権関係者にだけ薬や酸素ボンベなどが供給される事態となっています。ミャンマーで流行したウイルスは肺に影響を与えるもので、酸素ボンベが必要となります。一般の市民は一本の酸素ボンベを得るために一日並ぶ必要があります。酸素ボンベは一本一時間分で、感染者が二人いる場合、どちらかが助かりません。このような状況では、たくさんの悲しい現実がありました。酸素ボンベ供給の列の中でも、新型コロナウイルスに感染します。また、並んでいる最中に感染者死亡の連絡が入り、泣きながら列を外れる人もいました。力の強い人が全ての酸素ボンベを持っていくこともありました。